

[別紙①]

特別活動 学習指導略案

- 1 主 題 よりよい稲美中学校をつくっていこう
 2 ね ら い 全校生徒が集まる生徒総会を利用し、一人ひとりの思いをみんなで知り合う機会とする。
 3 人権教育の内容 「市民意識」の醸成 3 - (1) - ア
 4 展 開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 生徒会長のあいさつ 2 議長を選出し、議事を進行する。 3 1学期の委員会活動について、各委員会の委員長が報告をする。 4 生徒会の取組について、生徒会長が報告をする。 5 「どんな稲美中学校にしたいのか」に関して、各クラスで出た意見をスクリーンで紹介する。 6 「創立 50 周年イベント」の内容について、各クラスから出されたアイデアを紹介する。 7 令和 5 年度策定した「稲美中学校人権宣言」を紹介し、みんなで読み合う。	○ 基本的には生徒主導で会を進行する。 ○ 様々なボランティア活動に積極的に参加した生徒が多くいた。また、能登への募金活動に全校で取り組んだ。そうしたことへのお礼も報告の中に入れさせる。 ○ 地域の方との「ふれあい」や「感動の共有」がテーマであることを確認する。 ○ 1年生にとっては、初めて目にするものなので、策定の経緯などを簡単に説明する。

参考資料 「稲美中学校人権宣言」

前文

稲美中生は、「つながる人、つながる心、つなげる夢・未来」の目標を掲げ、日々の学校生活に一生懸命取り組んでいます。3年間の人権学習では自分の夢に向けた学びを、ふるさとデーでは地域の方と共に稲美町の未来に向けた学びを深めてきました。多くのつながりが生まれ、深まっている一方、多くの解決すべき課題がまだ残っています。

そこで、稲美中学校生徒会は、

- ①稲美中学校で生活している人が、みな笑顔で、それぞれの目標に向けてまっすぐ進めること。
- ②仲間の存在に気付き、仲間と共にわかりあい、愛しあい、伸ばしあい、高めあうこと。
- ③稲美中学校の生徒としての誇りをもち、多くの人に愛される稲美中学校を受け継いでいき、それを伝統としていくこと。

ここに「稲美中学校人権宣言」を宣言します。

- 愛 ・ 心から自分を愛し、友だちを愛す。 ・ 相思相愛を大切にする。 ・ お互いをたたえ合う。
- 志 ・ 強い自分の意志をもち自分の進む道を拓く。 ・ 目標を掲げ、志を高くもつ。
- 繋 ・ 地域、学校、家族の3つのつながりを大切にする。 ・ 人と人の深いつながりを大切にする。
 ・ SNS を正しく利用する。
- 美 ・ 学校を愛し、心を込めて清掃活動を行う。 ・ 人を素直に褒められる心をもつ。
 ・ 美しいものを美しいと言おう。 ・ 美しい町を保つ。
- 継 ・ 過去から学び、未来に伝統を受け継ぐ。 ・ 時を超えた絆をもつ。 ・ そして…

[別紙②]

実践事例「だれもが生活しやすい稲美中学校をつくろう」

<第1次 各学級での学習>

- ・ 生徒総会に向けて、各委員会の活動内容や各自の取組について振り返る。
- ・ 「だれもが生活しやすい学級や学校」であったかを振り返る。
- ・ 2学期に行われる「50周年記念チャリティイベント」について知り、どんなことができそうか考える。その際、地域の高齢者や体の不自由な人、外国籍の人たちも参加できる形にすることを意識させる。

<第2次 生徒総会> 生徒会主導

- ・ 各学級で話し合った「だれもが生活しやすい稲美中学校」に関する意見を紹介する。
- ・ 50周年記念イベントについて、各クラスから出た意見を紹介する。
- ・ 地域の方との「ふれあい」や「感動」のあるプログラムにすることを確認する。
- ・ 生徒会から、以下の提案をする。
 - ①卒業生や地域の方を招いての「チャリティマラソン」を実施し、集まったお金を能登などの被災地に募金する。
 - ②イベント当日に「炊き出し」を行い、災害時に避難所になったときを想定した経験を積む。
 - ③全校生が一人一役を果たせるよう取り組んでいく。

<どのような稲美中学校にしたいのか> 各クラスから出された意見

- ・ 当たり前なことを当たり前でできる学校
- ・ 地域とのつながりを大切にできる学校
- ・ 明日も行きたいと思える学校
- ・ みんなが元気で協力できる、明るく楽しい学校
- ・ 他の人のために動ける学校
- ・ 個性を認め合い、互いに尊重できる学校
- ・ みんなが生き生きとした学校生活を送れる学校
- ・ 何事も悔いのないようにやり遂げられる学校
- ・ 礼儀正しく、活気のある学校

<イベントを成功させるために大切なこと> 各クラスから出された意見

- ・ 一人ひとりの、成功させたいという気持ちが大切
- ・ 自分よりも他の人を優先させる気持ちをみんながもつ
- ・ 何事にも臨機応変に対応できること
- ・ イベントの目的をしっかりと考え、みんなで楽しむこと
- ・ 助け合うこと
- ・ 自分の役割を理解し、ルールやマナーを守ること
- ・ 熱い思い
- ・ 稲美中学校の一員であるという自覚をしっかりともつ

<みんなの意見を集約した生徒会からの提案>

- ・ 第1回卒業生から在校生までが集まり、母校の稲美中学校で「誰かのために心通わせる」ふれあいの一日にしよう。
- ・ 一人トラック2周程度を走りながらタスキをつなぎ、合計42.195キロメートルのチャリティマラソンを実施する。
- ・ 防災拠点として、地域の方と生徒がいっしょに「炊き出し」を行う。
- ・ 生徒一人ひとりが自主的に参加し、イベントの企画・運営を行う。また、一人一役を担う。